授　業　科　目	基礎科目 国　語	担　当　者 資格・役職等	大学助教授 看護師
開　講　時　期	１年　前期 ２年　後期	時　間　数	35 時間／35 時間
授 業 の 概 要	1. 文章を正確に読解したり，作成したりすることを通して，適切に表現する力を養う。 2. 論理的な表現，心情を豊かにする表現を磨くことで，読み手，聞き手に対して，明快に伝達しようとする態度を養う。		

回 数	時　間	授業内容	担当者
1	1・2	ガイダンス、自己紹介文の作成	非常勤講師
2	3・4	自己紹介	
3	5・6	文章の書き方（文の骨格を意識する）	
4	7・8	〃　（一文の情報量を調整する）	
5	9・10	〃　（文と文とを接続する）	
6	11・12	〃　（単語を使い分ける）	
7	13・14	文章を書く前に（材料の集め方）	
8	15・16	文章の組み立て方	
9	17・18	レポートの書き方、レポート作成「身近な看護」	
10	19・20	ディスカッション（作成したレポートをもとに）	
11	21・22	ビブリオバトル	
12	23・24	〃	
13	25・26	レポートの書き方、レポート作成「看護に関すること」	
14	27・28	〃　「看護に関すること」 文章作成（テスト），レポート作成「講義を通して」	
1	29・30	看護観について	専任教員
2	31・32	看護観まとめ・構成	
3	33・34	〃	
4	35	私の看護観　1200 字程度でまとめ　提出	

教　科　書	なし
参　考　文　献	配布資料 『「看」字ドリル』SENKOSHA,『文章力の基本』光文社 『文章力が身につく本』高橋書店 『朝 5 分！読むだけで文章力がグッと上がる本』ナガオカ文庫 『看護学生のためのレポート書き方教室』照林社
成績評価の方法	課題レポート（原稿用紙）　漢字テスト・語彙表現テスト　出席状況

授　業　科　目	基礎科目 数学	担　当　者 資格・役職等	高等学校教諭免許
開　講　時　期	１年前期	時　間　数	35 時間／35 時間
授　業　の　概　要	1．物事に対する数学的な考え方ができる。 2．看護に必要な基本的な計算，統計的知識を身につける。		

回数	時間	授　業　内　容		担当者
1	１・２	基本的な計算法則の確認	計算練習は随時	非常勤講師
2	３・４	式の計算と展開		
3	５・６	因数分解		
4	７・８	１次方程式と比例式		
5	９・10	連立方程式と２次方程式		
6	11・12	１次不等式　いろいろな文章問題		
7	13・14	看護計算ドリル①		
8	15・16	看護計算ドリル②		
9	17・18	**前半のテスト**		
10	19・20	場合の数　①		
11	21・22	場合の数　②		
12	23・24	データの整理（度数分布表など）		
13	25・26	代表値（平均値、中央値など）		
14	27・28	標準偏差　分散		
15	29・30	看護計算ドリル③		
16	31・32	看護計算ドリル④		
17	33・34	後半のまとめとテスト準備		
18	35	**後半のテスト**		

教科書	問題プリント配布
参考文献	数学Ⅰ　数学Ａ　数学Ｂ　教科書　看護計算ドリル　他
成績評価の方法	筆記試験（前半のテストと後半のテストの平均）

授　業　科　目	基礎科目 英語	担　当　者 資格・役職等	英会話学校講師
開　講　時　期	１年前期	時　間　数	35 時間／35 時間
授　業　の　概　要	1. 外国語に親しみながら，保健医療活動の場で常用される外国語の表現力・ 読解力の基礎的な能力を養う。 1）日常英会話の基本 2）看護に関する専門用語		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	１・２	自己紹介	非常勤講師
2	３・４	患者さんへの声のかけ方	
3	５・６	患者さんへの声のかけ方，体の部位の名称	
4	７・８	体温・血圧・脈拍の表現	
5	９・10	体温・血圧・脈拍，シーツ交換時などの表現	
6	11・12	症状の表現（1）	
7	13・14	症状の表現（2）	
8	15・16	痛みの表現	
9	17・18	アレルギーの表現	
10	19・20	初診時の表現	
11	21・22	指示表現	
12	23・24	薬の飲み方の表現，会話の作成のためのグループ分け	
13	25・26	病棟案内の表現，会話の作成	
14	27・28	会話の作成	
15	29・30	会話の作成・練習	
16	31・32	会話の練習	
17	33・34	会話の試験	
18	35	筆記試験（45 分）	

教科書	看護英会話入門　医学書院
参考文献	随時資料プリント配布
成績評価の方法	会話と筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 人体のしくみと働きⅠ	担　当　者 資格・役職等	医師 医師
開　講　時　期	１年前期	時　間　数	35 時間／105 時間
授　業　の　概　要	1. 人体の構造と機能の概要について系統的に学び，正常な身体のメカニズムを理解する；骨格系・筋系・呼吸器系 1）人体の大要と細胞・組織について学ぶ。 2）身体を支持し，運動できる仕組みの骨と筋肉の種類について学ぶ。 3）呼吸器の構造と働きを学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	１・２ ３・４ ５・６ ７・８ ９・10 11・12 13・14 15・16 17・18 19・20 21・22 23・24 25・26	第１章　人体の構成（Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ） 第２章　細胞からみた人体　Ａ細胞 Ｂ細胞とそれを取り巻く環境 Ｃ細胞膜の機能と膜電位 Ｄ組織　（上皮組織　支持組織　筋組織　神経組織　） 第 10 章　骨格系　Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ Ｆ骨格筋の形状　Ｇ筋の補助装置 Ｈからだの各部の骨格と筋　１頭部　２体幹 ３上肢 ４下肢 Ｉ筋のはたらき　１骨格筋の収縮　①　②　③ Ｉ筋のはたらき　１骨格筋の収縮　④　⑤　⑥ ２心筋と平滑筋の収縮 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3 4	27・28 29・30 31・32 33・34 35	呼吸器の構造（鼻～咽頭～気管～肺胞，縦隔） 呼吸の生理（呼吸運動～肺活量） 〃　（ガス交換～呼吸調節） 呼吸器疾患の主な症状　検査　（新看護学９巻） 筆記試験	非常勤講師

教科書	新看護学１専門基礎[1]　人体のしくみと働き　（医学書院） 新看護学９成人看護１　呼吸器
参考文献	解剖生理ワークブック
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 人体のしくみと働き Ⅱ	担　当　者 資格・役職等	医師 医師
開　講　時　期	1年前期	時　間　数	35時間／105時間
授　業　の　概　要	1．人体の構造と機能の概要について系統的に学び，正常な身体のメカニズムを理解する：血液系・生体防御系・循環系・神経系・感覚系 1）血液の組成と機能，循環器の構造とその働きについて学ぶ。 2）外敵を排除する免疫について学ぶ。 3）中枢神経を通して入力された情報がどのように末梢神経へ広がるかを学ぶ。 4）感覚器の構造とその働きについて学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	健康増進法，禁煙指導　【パワーポイント】	非常勤講師
2	3・4	血液系	
3	5・6	〃	
4	7・8	生体防御系	
5	9・10	生体防御系	
6	11・12	血管：動脈　静脈	
7	13・14	〃：門脈	
8	15・16	心臓と血管	
9	17・18	リンパ系	
	19・20	筆記試験	
1	21・22	神経系の分類	非常勤講師
2	23・24	神経系の解剖	
3	25・26	神経系の生理	
4	27・28	神経系の生理	
5	29・30	感覚系（体性感覚　内臓感覚）	
6	31・32	感覚系（特殊感覚）	
7	33・34	〃	
	35	筆記試験	

教科書	新看護学１専門基礎[1] 人体のしくみとはたらき　（医学書院）
参考文献	解剖生理ワークブック
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 人体のしくみと働きⅢ	担　当　者 資格・役職等	医師 医師
開　講　時　期	１年前期	時　間　数	35 時間／105 時間
授　業　の　概　要	1．人体の構造と機能の概要について系統的に学び，正常な身体のメカニズムを理解する：腎尿路系，生殖系，消化・吸収系，内分泌系 1）腎臓と排尿路の構造と尿生成と体液の調節について学ぶ。 2）生殖器の構造とその働きについて学ぶ。 3）消化器の構造とその働きについて学ぶ。 4）内分泌臓器の種類と働きについて学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6 7	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15	消化管の解剖 肝臓・胆嚢・膵臓の生理，解剖 消化管内視鏡検査の実際 消化・吸収のしくみ 内分泌系の仕組みとはたらき１　総論，脳下垂体 内分泌系の仕組みとはたらき２　甲状腺，副腎，生殖器 内分泌系の仕組みとはたらき３　膵臓，糖尿病 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3 4 5 6 7 8 9	16・17 18・19 20・21 22・23 24・25 26・27 28・29 30・31 32・33 34・35	医学用語について　腎尿路系に属する器官（腎臓　尿管　膀胱） 腎尿路系（腎臓　尿管　膀胱） 腎尿路系（体液組成） 腎尿路系（腎尿路系の機能） 腎尿路系（腎尿路系の機能） 生殖系（男性の生殖器） 生殖系（女性の生殖器） 生殖系（人体の発生） まとめ・復習（テストのポイント） 筆記試験	非常勤講師

教科書	新看護学１専門基礎[1] 人体のしくみと働き（医学書院）
参考文献	随時資料プリント配布　　解剖生理ワークブック
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 疾病のなりたちⅠ	担　当　者 資格・役職等	医師・医師・医師
開　講　時　期	1年前期	時　間　数	34時間／70時間
授 業 の 概 要	1. 疾病・障害の原因と病態を理解し，回復のための治療を理解する。 2. 生体組織に障害因子が加わったとき，組織や細胞をとりまく環境に変化が 生じたとき、生体がどのように対応し，回復し、あるいは死へと向かうのか，そのメカニズムを理解する。 1)疾患のなりたちと病理学　　２)基本的病変 3. 正常な人体のしくみ（身体の構造・解剖）とはたらき（機能・生理）が異常をきたした場合（疾患），異常のおこり方や原因（病態生理）を学ぶ。 1）血液・造血器 2）循環器，呼吸器，脳・神経 3）腎・泌尿器		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13	疾患と病理学 〃 疾患のなりたち 〃 血液・造血器疾患 〃 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3 4 5 6 7 8	14・15 16・17 18・19 20・21 22・23 24・25 26・27 28・29 30	循環器疾患：心臓の疾患（心奇形，心肥大，心筋症） 循環器疾患：心臓の疾患（狭心症，心筋梗塞，心臓弁膜症） 循環器疾患：血管の疾患（動脈硬化症，動脈瘤，解離性動脈瘤） 呼吸器疾患：肺炎，肺結核，肺気腫，気管支喘息 呼吸器疾患：肺癌 癌の診断，ＰＥＴ検査等 脳・神経：脳梗塞，頭蓋内出血 脳・神経：脳・神経の感染症，アルツハイマー病，脳腫瘍 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2	31・32 33・34	腎･泌尿器　解剖･生理（新看護学11成人看護[3]　新看護学2使用） 腎･泌尿器　症状と病態（新看護学11成人看護[3]　新看護学2使用）	非常勤講師・パワーポイント

教科書	新看護学2　専門基礎[2]疾病のなりたち　（医学書院） 新看護学11　成人看護[3]　腎・泌尿器　女性生殖器　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授 業 科目	専門基礎科目 疾病の成り立ちⅡ	担　当　者 資格・役職等	医師・医師 看護師
開 講 時 期	1年前期・後期	時　間　数	36時間／70時間
授業の概要	1. 正常な人体のしくみ（身体の構造・解剖）とはたらき（機能・生理）が異常をきたした場合（疾患），異常のおこり方や原因（病態生理）を学ぶ。 1）消化器，内分泌・代謝，運動器，女性生殖器・乳腺 2）皮膚,膠原病,アレルギー 3）感覚器		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13	皮膚の構造, 皮膚の機能，外用療法 湿疹皮膚炎蕁麻疹，紅斑症，紫斑病・血管炎，薬疹，紅皮症 光線皮膚障害，水疱症，角化症・膿疱症，物理・化学的皮膚障害 色素異常，母斑・母斑症，皮膚腫瘍，皮膚付属器疾患 細菌感染症　皮膚の感染症 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3 4 5 6 7 8	14・15 16・17 18・19 20・21 22・23 24・25 26・27 28・29 30	消化器疾患（食道・胃）：食道静脈瘤，食道がん，胃炎，胃潰瘍，胃がん 消化器疾患（腸）：クローン病，潰瘍性大腸炎，大腸がん 消化器疾患（肝臓）：ウイルス性肝炎，肝硬変，肝がん 消化器疾患（胆嚢・膵臓）：胆石症，胆嚢がん，膵炎，膵腫瘍 内分泌・代謝疾患：下垂体の疾患，甲状腺の疾患，甲状腺がん 内分泌・代謝疾患：副腎の疾患，膵臓ランゲルハンス島の疾患 女性生殖器・運動器疾患：子宮の疾患，卵巣の疾患，骨の疾患，筋肉の疾患 乳腺疾患：乳がん 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3	31・32 33・34 35・36	眼科疾患　耳鼻科疾患　［ 知識確認 ］ 血液疾患 疾病の成り立ち　まとめ	専任教員

教科書	新看護学2　専門基礎[2] 疾病のなりたち　（医学書院） 新看護学11　成人看護[3]　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 感染と予防	担　当　者 資格・役職等	医師 看護師
開　講　時　期	１年　前期	時　間　数	36 時間／35 時間
授　業　の　概　要	1．異物である微生物に対し生体がどのような防御機構を持つかを学び，予防接種の原理，抗体による治療や診断法を理解する。 2．感染症の原因となる微生物について理解を深める。 3．医療現場で働く者が自己および他を感染から守るための対策を学ぶ。 4．臨床で行われる検査の基礎知識を理解し，検査時の看護を学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	１・２	感染とは	非常勤講師
2	３・４	免疫	
3	５・６	アレルギー	
4	７・８	抗菌剤，滅菌、消毒	
5	９・10	細菌総論，ブドウ球菌，レンサ球菌	
6	11・12	グラム陰性桿菌	
7	13・14	〃　，ジフテリア，結核	
8	15・16	抗酸性菌，有芽胞菌，スピロヘータ	
9	17・18	リケッチア，クラミジア，ウィルス総論	
10	19・20	ウィルス各論	
11	21・22	ウィルス各論，プリオン，真菌，原虫	
	23	筆記試験	
1	24・25	1．臨床検査と看護	専任教員・パワーポイント
2	26・27	（1）臨床検査の意義と種類	
3	28・29	（2）臨床検査の介助における一般的な注意	
4	30・31	（3）検査データーについての一般的知識	
5	32・33	2．臨床検査とその介助法	
6	34・35	（1）一般検査　（2）血液学的検査　（3）血液生化学検査 （4）免疫血清検査　（5）微生物検査（6）遺伝子検査 （7）病理検査（8）生理機能検査	
	36	筆記試験	

教科書	新看護学２　専門基礎[2] 感染と予防　（医学書院） 新看護学 11　成人看護学[3] 感染症（医学書院） 新看護学７　基礎看護[2]　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 薬物と看護	担　当　者 資格・役職等	薬剤師 医師 保健所職員
開　講　時　期	1 年前期・後期　2 年後期	時　間　数	35 時間／35 時間
授 業 の 概 要	1. 薬に関する基本的事項（薬の定義，法令，管理），生体における薬の働き（作用，副作用，作用部位），生体内での薬の働き（吸収，分布，排泄）など を理解する。 2. 臨床現場で用いられている代表的な薬の作用機構と副作用，投与上の注意点などを学ぶ。 3. 麻薬が生体に及ぼす影響と麻薬の取扱いについて学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11	薬物に関する基礎知識　1 薬物に関する基礎知識　2 外用薬・生物学的製剤　薬物中毒とその処置 漢方薬　消毒薬 輸液　まとめ 筆記試験	非常勤 講師 ・パワー ポイント
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	12・13 14・15 16・17 18・19 20・21 22・23 24・25 26・27 28・29 30・31 32・33	化学療法剤 全身麻酔薬 睡眠剤 鎮痛薬，　自律神経系 局所麻酔薬，　抗ヒスタミン薬 オータコイド系，　抗炎症薬 抗高血圧薬，　抗高脂血症薬 呼吸器，　消化器，　ホルモン ビタミン まとめ 筆記試験	非常勤 講師
1	34・35	麻薬・覚醒剤について	保健所 職員

教科書	新看護学 3　専門基礎[3]　薬物と看護　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験　　出席状況

授　業　科　目	専門基礎科目 食生活と栄養	担　当　者 資格・役職等	医師 管理栄養士 看護師
開　講　時　期	1 年前期・後期	時　間　数	35 時間／35 時間
授　業　の　概　要	1. 栄養素の種類と働き，消化・吸収・代謝，エネルギーの摂取と消費について基礎知識を学ぶ。 2. 疾病・障害時の食事療法について基礎知識を学ぶ。 3. 食事療法の実際と看護師の役割について学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13	食生活と栄養（第 1 章，総論） 蛋白質 脂質 糖質 水とミネラル ビタミン 筆記試験	非常勤 講師
1 2 3 4 5 6	14・15 16・17 18・19 20・21 22・23 24・25 26	病院食 循環器，消化器疾患の栄養食事療法 腎臓疾患の栄養食事療法 栄養・代謝疾患の栄養食事療法 その他の栄養食事療法 特殊栄養法 筆記試験	非常勤 講師 ・パワー ポイント
1 2 3 4	27・28 29・30 31・32 33・34 35	食事療法を受ける患者の看護　まとめ 食事療法を受ける患者指導の実際１ 食事療法を受ける患者指導の実際２ 食事療法を受ける患者指導の実際３ 発表	専任教員

教科書	新看護学３　専門基礎[3]食生活と栄養　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 患者の心理	担　当　者 資格・役職等	精神保健福祉士 保健師・医師 牧師
開　講　時　期	１年後期	時　間　数	35 時間／35 時間
授　業　の　概　要	1. 患者の心理を理解する手がかりとなる保健医療場面の心理的基礎，対象別の心理患者の心理を理解するための基礎を学ぶ。 2. 健康・疾病・障害の心理学的基礎，患者の心理および家族とのかかわり方の基礎を学ぶ。 3. 患者の心理を理解する基礎として，個人の心理と行動，社会・集団の心理を学ぶ。 4. 対象別にみた患者の心理について学ぶ。 5. 疾病や障害の経過（時期）による患者の心理について学ぶ。 6. 人のサイクルにおける疾病や障害の患者の心理について学ぶ。 7. 患者や障害者の家族の心理にも思いをはせる。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	保健医療場面の心理　1. 健康と疾病・障害の心理	非常勤講師
2	3・4	2. 患者の心理アセスメント	
3	5・6	3. 医療従事者の心理	
4	7・8	4. 心理実際（アサーション等）	
5	9・10	個人の心の理解	非常勤講師
6	11・12	交流分析	
7	13・14	個人の行動の理解	
8	15・16	社会・集団の心理的理解　まとめ	
	17	筆記試験	
1	18・19	総論（危機モデルと心理のプロセス），急性期の患者の心理	非常勤講師・パワーポイント
2	20・21	回復期，リハビリテーションを受ける患者の心理	
3	22・23	慢性期の患者の心理，成人期の患者の心理	
4	24・25	終末期の患者の心理（キュブラーロスの５段階の心理過程）	
5	26・27	妊産褥婦，小児の心理・まとめ	
	28	筆記試験	
6	29・30	家族ケアとグリーフケア	非常勤講師
7	31・32	高齢患者の心理	
8	33・34	医療者以外から見た終末期の患者の心理	
	35	筆記試験	

教科書	新看護学４　専門基礎[4]　患者の心理　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門基礎科目 看護と倫理	担　当　者 資格・役職等	大学助教授
開　講　時　期	１年後期	時　間　数	35 時間／35 時間
授　業　の　概　要	１．　人間の尊厳を基盤にした看護の専門職業人としての良識ある判断と行動が行われるような倫理観を養う。 ２．　看護の倫理規定に関する基本原則を理解し，看護職の直面する諸々の倫理的問題の解決に向けて，看護の視点から保健・医療・福祉における倫理的意志決定について学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	看護職者と倫理	非常勤講師・パワーポイント
2	3・4	医療をめぐる倫理	
3	5・6	看護の倫理規定に関する基本原則	
4	7・8	看護者の倫理綱領について	
5	9・10	コミュニケーション，演習	
6	11・12	ターミナルケア（事例演習）	
7	13・14	認知症	
8	15・16	認知症ケアの演習	
9	17・18	チーム医療・地域との連携	
10	19・20	チーム医療，事例演習	
11	21・22	ユニバーサルデザイン	
12	23・24	〃	
13	25・26	リスクマネジメント，問題解決の手法	
14	27・28	リスクマネジメント，事例演習	
15	29・30	総合医療について	
16	31・32	タクティールケア演習	
17	33・34	まとめ	
	35	筆記試験	

教科書	新看護学 4 専門基礎[4] 看護と倫理　（医学書院）
参考文献	やさしい看護者の倫理綱領　照林社 介護現場で活かすフィジカルアセスメント　中央法規
成績評価の方法	課題レポート内容　　事例演習の発表　　出席状況で総合的に判定する

授　業　科　目	専門基礎科目 保健医療福祉のしくみ 看護と法律	担　当　者 資格・役職等	保健師 看護師
開　講　時　期	2 年前期・後期	時　間　数	35 時間
授　業　の　概　要	＜保健医療福祉のしくみ＞ 1. 健康と保健・医療・福祉 2. 公衆衛生と保健の仕組み 3. 医療のしくみ 4. 社会保障と福祉のしくみ ＜看護と法律＞ 1. 准看護師が知っておく関係法として，保健師助産師看護師法と衛生法を中心に，社会福祉や医療保険法などの関係法規を学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15・16 17・18 19・20 21・22	健康とは　健康をまもるしくみ　生活をまもるしくみ 公衆衛生・保健とは　人口と衛生・健康の指標 保健活動全般 環境と食品衛生　感染症の対策 医療とは　医療と倫理 医療を保障するしくみ 社会保障･社会福祉とは 現代社会の変化 わが国の社会保障制度 社会保険制度のしくみ 公的扶助のしくみ　社会福祉のしくみ 障害者福祉　児童福祉　母子・寡婦福祉 保健医療福祉のしくみ　まとめ・話し合い 筆記試験	非常勤講師
1 2 3 4 5 6	23・24 25・26 27・28 29・30 31・32 33・34 35	保健師助産師看護師法 医療法　医師法 臓器移植法　　感染症予防法 予防接種法　　母子保健法　　母体保護法　　精神保健福祉法 薬事法　　社会福祉法規　　環境衛生法規 医療保険・介護保険関係法規 筆記試験	非常勤講師

教科書	新看護学 5 専門基礎[5] 保健医療福祉のしくみ　看護と法律　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 看護概論	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　前　期	時　間　数	35時間
授　業　の　概　要	目的：看護に対する自分の考え方や態度を養うことを学習する。 概要：　歴史的変遷から看護とは何か，看護の対象である人間とはどんな存在であるか，看護は何を目的に，どのような方法で行うのかについて基本的な事項を学び，看護理論家の捉えた看護についてレポートにまとめ，看護に対する自らの考え方や態度を養う。 　保健医療福祉システムについて学び，看護がどのように機能すべきかを学習する。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	看護とは何か　　看護概念の移り変わり	専任教員 ・パワーポイント
2	3・4	現代における看護の概念　　看護の目的･対象･方法	
3	5・6	ヘンダーソン「看護の基本となるもの」	
4	7・8	ヘンダーソン「看護の基本となるもの」　看護過程	
5	9・10	看護の対象としての人間　1	
6	11・12	看護の対象としての人間　2	
7	13・14	健康の価値・健康観・健康の概念	
8	15・16	健康をまもるしくみと看護	
9	17・18	看護活動―看護の実施１	
10	19・20	看護活動―看護の実施２	
11	21・22	ナイチンゲールの看護について「看護覚書き」 筆記試験	
12	23・24	看護管理・看護研究	
13	25・26	職業としての看護	
14	27・28	生命倫理と看護の倫理	
15	29・30	〃	
16	31・32	看護の変遷　1	
17	33・34	〃　　2	
18	35	筆記試験	

教科書	新看護学６　基礎看護【1】看護概論　（医学書院）
参考文献	ナイチンゲール「看護覚え書」 ヘンダーソン「看護の基本となるもの」 看護者の倫理綱領
成績評価の方法	課題レポート　筆記試験　授業出席状況　授業態度

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅰ	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年前期	時　間　数	18時間
授　業　の　概　要	目標：看護技術とは何かを理解し，専門職としての看護技術の基礎を学ぶ。 概要：看護技術を学ぶ前に，看護技術とは何か考える。 観察，記録および報告の意義，種類，方法を学び，看護過程についての意義，構成要素を理解し，准看護師としてのかかわりを学ぶ。事例について考え理解を深める。 患者のニーズと日常生活援助の基本について学び，患者の安全・安楽を守る看護の基礎知識について，今後学ぶ看護技術へ繋げる。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	看護技術とは何か	専任教員・パワーポイント
2	3・4	観察の意義，目的，種類，要件，方法，視点	
3	5・6	〃	
4	7・8	看護記録の意義，目的，種類，方法，管理	
5	9・10	報告の意義，目的，種類，方法	
6	11・12	看護過程とは	
7	13・14	日常生活に対する理解と援助	
8	15・16	安全を守る技術，医療事故，まとめ	
9	17・18	筆記試験	

教科書	新看護学7　基礎看護【2】看護概論　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術　Ⅱ-1	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　　前期	時　間　数	10時間
授　業　の　概　要	目的：自分を大切にし，他者も大切にするコミュニケーションの基礎的能力を身につける。 概要：よりよい人間関係を築くことは，自分を知り，相手を知ることから始まる。まず，自身がどのようなコミュニケーションを行い，人間関係を構築しているのか演習を交えながらとらえるようにする。その上で，他者にも興味を持ち，自身が相手にどのような影響を与えているのか考えられるようにする。日常生活におけるコミュニケーション方法を身につけ，看護を学ぶ基礎を作り，看護につなげられるように学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	自分のことを知ろう　相手のことを知ろう	専任教員
2	3・4	コミュニケーションとは コミュニケーションを阻害するもの	
3	5・6	グループワークの意味 人の意見や思いを聞く体制をつくること	
4	7・8	自分を見つめる自分	
5	9	相手を尊重することと自分を表現すること 双方向のコミュニケーション	
	10	終講試験	

教科書	新看護学７　基礎看護【2】基礎看護技術　（医学書院）
参考文献	看護がみえる　Vol.1　基礎看護技術　（メディックメディア） Vol.2　臨床看護技術　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅱ-2	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　　前期	時　間　数	25時間
授　業　の　概　要	目的： 1.　日常生活援助の意義について学び，理解を深める。 2.　患者が快適な日常生活を過ごす事ができるよう，病棟の環境を整える為の援助方法について学習する。 3.　ベッドメーキングやリネン交換の技術を習得し，快適な環境を考える。 4.　滅菌・消毒・感染予防の基礎知識を学び，感染予防の技術を習得する。 概要： 患者にとって，療養の場である病室は，患者が1日生活する場でもある。患者が身体を休め，治療に専念できる環境を整えることは看護師にとってとても大切な看護援助である。この科目では，患者が快適な日常生活を過ごすことができるよう，環境を整えるための援助方法について学習をする。快適な環境とはどんなものなのかを学び，実際に患者が1日の多くを過ごすベッドのベッドメーキングやリネン交換の技術を修得する。 また，感染予防の看護技術として医療器具等を実際に触れながら，滅菌，消毒についての基礎的知識を学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	＜日常生活に対する援助＞　＜環境調整の技術＞ 環境とその調整、療養環境の調整（空気，音環境・騒音，光・景色）入院患者の生活環境（病院内の構成，病室）病床環境のつくり方	専任教員
2	3・4	ベッドメーキング（リネン類の取り扱い，たたみ方）	
3	5・6	クローズドベッドのつくり方（横シーツまで）	
4	7・8	クローズドベッドのつくり方（横シーツ～完成）	
5	9・10	オープンベッドの作り方 臥床患者のリネン交換	
6	11・12	ベッドメーキング練習	
7	13・14	〃	
8	15・16	技術チェック	
9	17・18	〃	
10	19・20	＜感染予防の技術＞　感染予防の基礎知識	
11	21・22	感染予防の基礎知識　　手指衛生　　個人防護	
12	23・24	滅菌　消毒　無菌操作　滅菌手袋装着　　感染予防まとめ	
13	25	終講試験	

教科書	新看護学７　　基礎看護[2]　基礎看護技術　（医学書院）
参考文献	看護がみえるVol.1　基礎看護技術　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅲ	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　前期	時　間　数	18時間
授　業　の　概　要	目的：姿勢の保持や活動と休息のバランスを理解し，対象が安全安楽で自立した生活ができるよう援助方法を習得する。 概要：良い姿勢の保持や活動・休息の意義・目的を理解し，充足できない場合の身体面・精神面・社会面への影響について考え看護の必要性を理解する。安全安楽自立に向けた援助を講義や学内演習を通して学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	姿勢と動作の基礎知識 姿勢の種類と特徴，安楽な姿勢，ボディメカニクス	専任教員
2	3・4	体位変換の援助	
3	5・6	移動・移送の援助	
4	7・8	学内演習	
5	9・10	学内演習	
6	11・12	活動と休息の援助	
7	13・14	褥瘡予防のための基礎知識 好発部位，発生要因，危険因子をアセスメントする	
8	15・16	包帯法の基礎知識	
9	17	包帯法の演習	
	18	終講試験	

教科書	医学書院　　新看護学７　基礎看護[2]
参考文献	看護がみえる　Vol.1　基礎看護技術　（メディックメディア） Vol.2　臨床看護技術　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅳ	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　前期	時　間　数	35時間
授　業　の　概　要	目的：基本的看護の構成要素である呼吸を助け体温を保持することで，対象が安全安楽自立に向けた日常生活が送れるよう援助方法を学ぶ。 概要：バイタルサインの意義・目的を理解する。安全安楽自立の視点を持ち，対象者に応じた観察方法と測定技術を講義・学内演習を通して学ぶ。 呼吸を助け，体温保持の意義・目的を理解し安全安楽を考えた看護技術の方法を講義・学内演習を通して学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	＜バイタルサイン＞　バイタルサインとは，意識障害の観察	専任教員
2	3・4	呼吸の生理，種類，観察，測定方法，呼吸の異常，Spo2	
3	5・6	脈拍の生理，観察，脈拍の異常，測定方法	
4	7・8	血圧の生理，観察，血圧計，測定方法	
5	9・10	体温の生理，観察，代表的な熱型，測定方法，体温表記入方法	
6	11・12	学内演習	
7	13・14	学内演習	
8	15・16	学内演習	
9	17・18	学内演習	
10	19・20	学内演習	
11	21・22	技術チェック	
12	23・24	技術チェック	
13	25・26	＜罨法＞罨法の意義と看護，罨法の基礎知識，温罨法・冷罨法	
14	27・28	＜吸入＞吸入の基礎知識，実施上の注意点	
15	29・30	＜吸引＞吸引の基礎知識，実施上の注意点	
16	31・32	＜吸引・吸入＞演習	
17	33・34	まとめ	
18	35	終講試験	

教科書	医学書院　　新看護学７　基礎看護［２］
参考文献	看護がみえる　Vol.1　基礎看護技術　（メディックメディア） Vol.2　臨床看護技術　（メディックメディア） Vol.3　フィジカルアセスメント　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　筆記試験　技術試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅴ	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　　前期	時　間　数	35時間
授　業　の　概　要	目的：基本的欲求のひとつである清潔に対する援助の必要な対象を理解し，対象が安全 安楽な日常生活を送れるために必要な援助方法を学ぶ。 概要：身体を清潔にすることの意義・目的を理解する。そのことから，身体を清潔にすることが自ら充分に満たされない時，身体面・精神面・社会面への影響について考え，看護の必要性を理解する。対象者が安全安楽な日常生活を送るために必要な援助技術について講義や学内演習を通し学ぶ。 事例を通し，学生自ら対象にとって安全安楽な自立性のある看護技術の方法を考え，実際に実践する。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	清潔の意義・目的	専任教員
2	3・4	安全安楽な清潔ケアとは、衣生活の援助	
3	5・6	寝衣交換（学内演習）	
4	7・8	寝衣交換（学内演習）	
5	9・10	手浴・足浴（学内演習）	
6	11・12	陰部洗浄（陰部モデルを使用した演習）	
7	13・14	洗髪・整容	
8	15・16	洗髪（学内演習）	
9	17・18		
10	19・20	全身清拭・熱布清拭（学内演習）	
11	21・22		
12	23・24	口腔ケア（学内演習）	
13	25・26	事例に基づいた演習（学内演習）	
14	27・28	全身清拭・寝衣交換	
15	29・30	事例に基づいた演習（学内演習）	
16	31・32		
17	33・34	まとめ	
18	35	終講試験	

教科書	新看護学７　基礎看護【2】基礎看護技術　（医学書院）
参考文献	看護がみえる　Vol.1　基礎看護技術　（メディックメディア） Vol.2　臨床看護技術　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　筆記試験　技術試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅵ-1	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　　前期	時　間　数	15時間
授　業　の　概　要	目的：　基本的欲求のひとつである食事に対する援助の必要な対象を理解し，対象が安全で安楽な生活を自立して遅れるために必要な援助を学ぶ。 概要：　人間にとって，食事をすることの意義と目的を理解する。このことから，何らかの食事が自らとることができない時の生理的心理的社会的な影響について考え，看護の必要性を理解する。対象が安全で安楽な生活を自立して送るために必要な援助方法について事例を通し，講義や学内演習で考え，実践できる力を養う。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	食生活の意義と目的	専任教員
2	3・4	食事のニード不足による身体への影響	
3	5・6	栄養状態の把握と身体計測とのアセスメント	
4	7・8	食事援助の実際 （学内演習）	
5 6	9・10 11・12	事例の対象に合わせた援助を考える （学内演習）	
7	13・14	経管栄養法を受ける患者の看護 （学内演習）	
8	15	終講試験	

教科書	新看護学７　基礎看護【2】基礎看護技術　（医学書院）
参考文献	看護がみえる　Vol.1　基礎看護技術　（メディックメディア） Vol.2　臨床看護技術　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅵ-2	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　前期・後期	時　間　数	21時間
授　業　の　概　要	目的：排泄援助の意義を理解し，排泄障害が人間に及ぼす影響を考え，対象にあわせた援助方法を実施する。 概要：排泄は人間の基本的欲求であり，生命の維持に欠かせない生理現象であるが，排泄という行為には不潔や性というイメージがあり，羞恥心も強く，他人に見られたくない行為ととらえている。そのため，援助を受けること自体の苦痛も大きく，羞恥心や気兼ねから援助を依頼しづらいという心理も生じやすい。また，失禁や排泄の失敗体験は患者の自尊心を大きく傷つける場合がある。自分で排泄行動がとれない患者の心理状態を，演習を通して体験し，羞恥心に配慮し自尊心を傷つけることのない援助方法について考えることができる。事例を通し，排泄行動が制限された患者への排泄の援助方法を考える。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
		日常生活に対する援助技術	専任教員 ・パワーポイント
1	1・2	1．排泄の援助	
		(1) 排泄の援助とは	
2	3・4	(2) 排尿の援助	
		(3) 排便の援助	
3	5・6	(4) おむつ交換	
		(5) 摘便の援助	
		(6) ストーマケア	
4	7・8	【　演習　】	
5	9・10	【　演習　】	
		診療に伴う看護	
6	11・12	1．浣腸	
7	13・14	2．導尿	
8	15・16	3．洗浄	
		(1) 胃洗浄	
		(2) 膀胱洗浄	
9	17・18	【　演習　】	
10	19・20	【　演習　】	
11	21	筆記試験	

教科書	新看護学7　基礎看護【2】基礎看護技術　（医学書院）
参考文献	看護がみえるVol.1　基礎看護技術　（メディックメディア） 看護がみえるVol.2　基礎看護技術　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　課題の提出　筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 基礎看護技術Ⅶ	担　当　者 資格・役職等	看護師
開　講　時　期	1年　　前期・後期	時　間　数	35時間
授　業　の　概　要	目的：患者に行われる医療行為の目的・内容について，医療者－患者の双方の立場から理解することができる。患者に安全で，身体的・精神的な負担が最小限になるための援助方法を考え実施できる。 概要：医師による健康状態の判断・疾病の診断・治療方針の選択・治療効果の確認のため行われる診療の補助の実際を理解する。その際，患者の心身に及ぼす影響を把握し，患者の負担が最小限になるような援助実際を学ぶ。また目的どおりの診療が行われ，正確な情報が得られる援助の実際を学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	1．診察 （1）援助の実際 （2）診療・処置に用いられる物品の種類と取り扱い方 2．主な検査 （1）検体検査　（2）尿検査　（3）試験紙法による検査　（4）便検査	専任教員 ・パワーポイント
2	3・4	（5）喀痰検査　（6）咽頭分泌物検査　（7）血液検査（採血）	
3	5・6	【演習】注射器の準備	
4	7・8	【演習】静脈血採血	
5	9・10	【演習】静脈血採血	
6	11・12	【演習】技術チェック（静脈血採血）	
7	13・14	【演習】技術チェック（静脈血採血）	
8	15・16	3．画像診断のための各種検査法 （1）単純Ｘ線検査　（2）造影検査（3）Ｘ線ＣＴ検査 （4）磁気共鳴画像（MRI）（5）超音波検査 （6）上部消化管内視鏡検査　（7）下部消化管内視鏡検査	
9	17・18	4．与薬 1）注射以外の与薬法 （1）経口的与薬　（2）直腸内与薬　（3）経皮吸収パッチ （4）点眼　（5）点耳　（6）点鼻　（7）吸入	
10	19・20	2）注射法 （1）皮下注射　（2）筋肉内注射　（3）皮内注射 （4）静脈内注射　①ワンショット投与　②点滴静脈内注射	
11	21・22	【演習】静脈内注射（ワンショット投与）	
12	23・24	【演習】静脈内注射（点滴静脈内注射）・皮内注射	
13	25・26	【演習】皮下注射・筋肉内注射	
14	27・28	【演習】皮下注射・筋肉内注射	
15	29・30	【演習】技術チェック（皮下注射・筋肉内注射）	
16	31・32	【演習】技術チェック（皮下注射・筋肉内注射）	
17	33・34	5．輸血（1）輸血療法とは　（2）援助の基礎知識　（3）援助の実際 6．穿刺（1）胸腔穿刺　（2）腹腔穿刺　（3）腰椎穿刺　（4）骨髄穿刺	
18	35	筆記試験	

教科書	新看護学７　基礎看護【2】基礎看護技術　（医学書院）
参考文献	看護がみえる Vol.1　基礎看護技術　（メディックメディア） 看護がみえる Vol.2　基礎看護技術　（メディックメディア）
成績評価の方法	授業出席状況　授業態度　課題の提出　技術チェック　筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 臨床看護概論Ⅰ	担　当　者 資格・役職等	看護師・看護師 看護師・看護師
開　講　時　期	１年後期	時　間　数	36 時間／70 時間
授　業　の　概　要	1. 健康障害のある患者とそれを支える家族がどのような状況におかれ, どのような援助が必要となるかを，医療および看護の視点から多角的に学習する。 2. 内科的治療・処置を受ける患者の看護を学習する。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4	1・2 3・4 5・6 7・8	患者と家族の理解 患者と家族の理解 疾病の経過と患者の看護 疾病の経過と患者の看護	非常勤講師 ・パワー ポイント
1 2 3 4 5	9・10 11・12 13・14 15・16 17・18	検査を受ける患者の看護 安静療法を受ける患者の看護 食事療法を受ける患者の看護 薬物療法を受ける患者の看護 輸液療法を受ける患者の看護	非常勤講師 ・パワー ポイント
1 2 3	19・20 21・22 23・24	放射線療法を受ける患者の看護 精神療法を受ける患者の看護 救急処置を受ける患者の看護	非常勤講師 ・パワー ポイント
1 2 3 4	25・26 27・28 29・30 31・32	さまざまな場における看護 集中治療を受ける患者の看護 運動療法を受ける患者の看護、透析療法を受ける患者の看護 創傷処置・創傷ケアを受ける患者の看護	非常勤講師 ・パワー ポイント
	33・34 35・36	筆記試験	

教科書	新看護学８　基礎看護[3]　臨床看護概論　(医学書院)
参考文献	新看護学２　疾病のなりたち　臨床検査 新看護学 11　成人看護[3]　放射線診療と看護
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門科目 基礎看護 臨床看護概論Ⅱ	担　当　者 資格・役職等	医師 看護師 看護師
開　講　時　期	１年前期・後期	時　間　数	35 時間／70 時間
授　業　の　概　要	１．主要な症状を示す患者の看護について理解を深める。 ２．外科的治療・処置を受ける患者の看護の理解を深める。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5	１・２ ３・４ ５・６ ７・８ ９・10 11	全身症状を示す患者の看護 呼吸器症状，循環器症状を示す患者の看護 消化器症状を示す患者の看護 腎・泌尿器症状を示す患者の看護 脳・神経症状を示す患者の看護 筆記試験	非常勤 講師 ・パワー ポイント
1 2 3 4 5 6 24	12・13 14・15 16・17 18・19 20・21 22・23	外科的治療の意義 麻酔の介助：麻酔の基礎知識，術前管理，麻酔前の準備 全身麻酔法，局所麻酔法，手術体位，術後管理，特殊な麻酔 術前の患者の看護：入院時，術前の検査，全身状態の改善， 手術の準備，手術前日，手術当日の看護 手術室における患者の看護 手術室看護の基本，手術室の環境と設備，手術器械と手術材料 手術室における滅菌と消毒，手術衣の着用とゴム手袋の装着 術後の患者の看護：病室の準備と患者の移送，術直後の看護 術直後の一般的な看護，術後合併症の予防 内視鏡下手術時の患者の看護 内視鏡と内視鏡下手術，内視鏡下手術時の患者の看護 人工臓器と看護：人工臓器の種類，人工臓器を使用している 患者の看護，人工臓器使用による日常生活上の規制，臓器移植の かかえる諸問題 筆記試験	非常勤 講師 ・パワー ポイント
1 2 3 4 5	25・26 27・28 29・30 31・32 33・34 35	経過別看護 事例展開 情報収集 事例展開 症状別事例展開 発表，まとめ	専任教員

教科書	新看護学８　基礎看護[3]　（医学書院）　　DVD（二次救命処置 ALS）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験　レポート

授業科目	専門科目 成人看護Ⅰ 呼吸器・血液・脳神経・内分泌・代謝	担当者 資格・役職等	医師 医師 医師
開講時期	1年前期・後期	時間数	35時間／210時間
授業の概要	1. 健康障害の病態生理と症候について，系統的に疾病の成り立ちや治療方法，回復の過程を学ぶ。 1）呼吸器疾患・血液疾患 2）脳・神経疾患 3）内分泌・代謝疾患		

回数	時間	授業内容	担当者
1	1・2	呼吸器疾患のおもな治療・処置・手術　（新看護学9巻）	非常勤講師
2	3・4	おもな疾患：気管支喘息，肺炎	
3	5・6	肺結核，慢性閉塞性肺疾患，間質性肺疾患	
4	7・8	肺水腫，肺循環障害，睡眠時無呼吸症候群	
5	9・10	胸壁・胸膜・縦隔の疾患	
6	11・12	呼吸器の腫瘍性疾患	
7	13・14	胸部外傷	
8	15・16	おもな血液疾患：白血病，貧血　（新看護学10巻）	
9	17・18	造血器疾患・出血傾向	
	19	筆記試験	
1	20・21	脳神経の解剖と機能，脳神経疾患の症状とその病態生理，脳神経疾患の	非常勤講師
2	22・23	おもな検査法	
3	24・25	脳神経疾患のおもな治療法，脳神経疾患の病態	
4	26・27	脳腫瘍，感染症疾患の病態	
	28	変性疾患，認知症，外傷，筋疾患の病態	
		筆記試験	
1	29・30	内分泌疾患：下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・性腺等の機能と疾患について	非常勤講師
2	31・32	代謝疾患：糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症の診断とその発症のメカニズム	
3	33・34	症候からその対応の仕方，治療について	
	35	〃	
		筆記試験	

教科書	新看護学9　成人看護[1]　呼吸器　（医学書院） 新看護学10　成人看護[2]　血液　脳・神経　内分泌・代謝　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授業科目	専門科目 成人看護Ⅱ 消化器・腎泌尿器・女性生殖器	担当者 資格・役職等	医師 医師 医師 医師
開講時期	1年前期・後期	時間数	35時間／210時間
授業の概要	2. 健康障害の病態生理と症候について，系統的に疾病の成り立ちや治療方法や回復の過程を学ぶ。 1）消化器疾患 2）腎・泌尿器疾患 3）女性生殖器		

回数	時間	授業内容	担当者
1 2 3 4 5 6 7 8 9	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15・16 17・18 19・20	消化器のはたらき（解剖とその機能） 症状と病態生理① 症状と病態生理② 腸・腹膜の疾患①　炎症性腸疾患等 肝臓の疾患 小児の疾患等 食道・胃の疾患 腸・腹膜の疾患② 腸閉塞，虫垂炎，ヘルニア，大腸癌，大腸ポリープ，痔，腹膜炎等 胆嚢・膵臓の疾患 筆記試験	非常勤 講師２名 ・パワー ポイント
1 2 3 4 5	21・22 23・24 25・26 27・28 39・30 31	腎・泌尿器・上部尿路疾患（新看護学11成人看護[3]　新看護学２使用） 腎・泌尿器・下部尿路疾患　（　〃　） 腎・泌尿器・外性器疾患・他　（　〃　） 腎・泌尿器・検査と治療　（　〃　） 腎・泌尿器・検査と治療・手術（　〃　） 筆記試験	非常勤 講師１名 ・パワー ポイント
1 2	32・33 34・35	婦人科　解剖・生理 婦人科疾患，発生異常，機能異常，炎症性疾患，腫瘍性疾患	非常勤 講師１名

教科書	新看護学9 成人看護[1] 消化器（医学書院） 新看護学11成人看護[3] 腎・泌尿器　女性生殖器　（医学書院） 新看護学14 母子看護　母性看護　(医学書院)
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門科目 成人看護Ⅲ 運動器・リハビリ・循環器	担　当　者 資格・役職	医師 医師
開　講　時　期	１年後期	時　間　数	34 時間／210 時間
授　業　の　概　要	1. 健康障害の病態生理と症候について，系統的に疾病の成り立ちや治療方法や回復の過程を学ぶ。 1）運動器疾患・リハビリテーション 2）循環器疾患		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6 7	１・２ ３・４ ５・６ ７・８ ９・10 11・12 13・14 15	運動器とは　　骨・関節・筋肉の解剖・診断 診察方法　おもな治療法 外傷　A.骨折　B.関節外傷　C.神経・脊髄外傷 骨・関節の感染症　　関節リウマチ 変形性関節症　　変形性脊椎症 小児の疾患　　代謝性疾患 リハビリテーション　　まとめ　　【パワーポイント使用】 筆記試験	非常勤講師
1 2 3 4 5 6 7 8 9	16・17 18・19 20・21 22・23 24・25 26・27 28・29 30・31 32・33 34	循環器のしくみとはたらき 症状とその病態生理 診察とおもな検査 おもな治療・処置 〃　　，生活習慣病 虚血性心疾患：狭心症 虚血性心疾患：心筋梗塞 心臓弁膜症，心筋疾患と心膜疾患 血管疾患，心臓の腫瘍，先天性心疾患 筆記試験	非常勤講師

教科書	新看護学９　成人看護[1]　循環器　（医学書院） 新看護学 10 成人看護[2] 運動器 看護にいかすリハビリテーションの知識と技術　　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門科目 成人看護 Ⅳ 皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔疾患	担　当　者 資格・役職等	医師 医師 医師 医師
開　講　時　期	1 年後期	時　間　数	36 時間／210 時間
授　業　の　概　要	1．健康障害の病態生理と症候について，系統的に疾病の成り立ちや治療方法や回復の過程を学ぶ。 1）皮膚疾患 2）眼科疾患 3）耳鼻咽喉疾患 4）歯・口腔疾患		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11	皮膚疾患 〃 膠原病 〃 アレルギー 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3 4	12・13 14・15 16・17 18・19 20	眼疾患患者の看護，基礎知識 〃　　，主な疾患 〃　　，主な疾患 白内障手術 DVD 共覧，患者の看護 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3 4	21・22 23・24 25・26 27・28 29	おもな疾患（耳の疾患） おもな疾患（鼻の疾患） おもな疾患（咽頭・後頭の疾患） 試験対策 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント
1 2 3	30・31 32・33 34・35 36	口腔領域の発育異常・変形 口腔領域の外傷，口腔粘膜疾患，炎症性疾患・のう胞 口腔領域の腫瘍，顎関節疾患，唾液腺疾患 筆記試験	非常勤講師・パワーポイント

教科書	新看護学 11 成人看護[3] 皮膚（医学書院） 新看護学 12 成人看護[4] 眼 耳鼻咽喉 歯・口腔（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門科目 成人看護 Ⅴ	担　当　者 資格・役職等	看護師 看護師 看護師 助産師
開　講　時　期	1年前期・後期	時　間　数	37時間／210時間
授　業　の　概　要	1．成人期にある人々の特徴を理解し，外科的治療および内科的治療を必要とする患者の急性期から回復期，および慢性期にいたる疾病段階にある人々に対して必要な看護について学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13	呼吸器疾患患者の看護：症状に対する看護 呼吸器疾患患者の看護：疾患の看護 消化器疾患患者の看護：共通の看護，症状に対する看護 消化器疾患患者の看護：疾患の看護 循環器疾患患者の看護：症状に対する看護･診断･検査･治療･介助 循環器疾患患者の看護：疾患の看護 筆記試験	非常勤講師 ・パワーポイント
1 2 3 4 5	14・15 16・17 18・19 20・21 22・23 24	血液疾患患者の看護，内分泌・代謝疾患患者の看護 脳神経疾患患者の看護 脳神経疾患患者の看護 運動器疾患患者の看護 運動器疾患患者の看護 筆記試験	非常勤講師 ・パワーポイント
1 2 3 4 5	25・26 27・28 29・30 31・32 33・34 35	成人看護総論 腎・泌尿器疾患患者の共通の看護 腎疾患患者の看護 泌尿器疾患患者の看護 感染症患者の看護 筆記試験	非常勤講師 ・パワーポイント
1	36・37	女性生殖器疾患看護　・パワーポイント，骨盤胎児モデル	非常勤講師

教科書	新看護学9 成人看護[1]　呼吸器　循環器　消化器　(医学書院) 新看護学10 成人看護[2]　血液 内分泌・代謝　脳・神経　運動器　(医学書院) 新看護学11 成人看護[3]　腎･泌尿器　女性生殖器　感染症　(医学書院) 新看護学14 母子看護　母性看護　(医学書院)
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授業科目	専門科目　老年看護	担　当　者 資格・役職等	看護師、看護師、看護師、看護師
開講時期	1年前期・後期	時　間　数	35時間／210時間

授業の概要	
	1.「老化」により，高齢者の体や精神がどう変化するかを理解する。 2. 高齢者を取り巻く社会環境と介護保険について学ぶ。 3. 医療機関以外の「介護の場」での看護師の役割を理解する。 4. 老年期にある対象の身体的，精神的，社会的特徴を理解した上で，高齢者の生活を支える看護の視点と看護の実際について学ぶ。 5. 高齢者に多い疾患の看護について学ぶ。 6. 老年期にある患者の事例を用い症状のアセスメント及びケアプランについて考え，看護過程の展開をしてみる。

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1	1・2	高齢者を取り巻く社会と生活の理解 ア）統計学的資料より我が国の高齢化について経過を理解するとともに，高齢化社会の抱える問題点について考察する。 イ）老化の概念を知るとともに，老化による身体の各種臓器の起こる変化や老化による心の変化を学ぶことにより，高齢者を深く理解できるようにする。	非常勤講師 ・パワーポイント
2	3・4	高齢者の生活を支える看護の視点 ア）高齢者看護において求められる看護の基本的姿勢（コミュニケーションの取り方）や介護保険施行後に出現した様々な看護の場における，それぞれの看護の仕方を理解する。 イ）また、介護保険の理念である「高齢者への自立支援」について学ぶ。「高齢者への看護」という直接的な自立支援のみではなく，看護師は「家族への援助技術」をとおして支援を行えることを理解する。	
3	5・6	高齢者が豊かに生きる為に ア）高齢者に特有の認知症の症状について，その内容を中核症状と周辺症状に分類して理解する。また、その原因疾患であるアルツハイマー病や多発性脳梗塞についても理解を深める。 イ）　廃用症候群を予防するためのリハビリテーションの仕方やアクティビティケアについて学ぶ。	
4	7・8	高齢者の生活を支える社会と場 ア）高齢者の生活を支える社会的背景を年代的経過から理解する。すなわち，老人福祉法や同保健法の成立からゴールドプランにより様々な施設が整備された事，また措置制度に代わって出現した介護保険制度をその仕組みについて学ぶ。 イ）訪問看護ステーションの役割と在宅生活における高齢者の看護について考察する。	
	9	筆記試験	
1	10・	高齢者の暮らしを支える看護の実際：　健康生活の維持　高齢者とリスクマネジメント	非常勤講師 ・パワーポイント
2	11	高齢者の暮らしを支える看護の実際：　健康生活の維持　高齢者とリスクマネジメント	
	12・	高齢者の病態・疾患と看護：　高齢者に多い疾患とその特徴	
3	13	高齢者の病態・疾患と看護：　系統別にみる症状・疾患と看護	
4		高齢者の病態・疾患と看護：　系統別にみる症状・疾患と看護	
	14・	治療・処置を受ける高齢者の看護：	
	15	外来受診をする高齢者の看護・検査を受ける高齢者の看護,	
5	16・	治療・処置を受ける高齢者の看護：	
	17	薬物療法を受ける高齢者の看護, 入退院を必要とする高齢者の看護手術をうける高齢者の看護・救急対応を要する高齢者の看護	
		筆記試験	
	18・		
	19		
	20		

1 2 3 4 5 6 7 8	21・ 22 23・ 24 25・26 27・28 29・30 31・32 33・ 34 35	看取りの看護 看取りの看護 まとめ 老年看護の実際 老年看護の実際 老年看護の実際 知識確認 知識確認 まとめ	専任 教員 専任 教員
教科書		新看護学 13 老年看護　（医学書院）	
参考文献		看護学入門　基礎看護［Ｉ］　（メヂカルルフレンド社）	
成績評価の方法		筆記試験	

授　業　科　目	専門科目 母子看護（母性看護）	担　当　者 資格・役職等	医師 助産師 看護師
開　講　時　期	1年後期	時　間　数	35時間／70時間
授　業　の　概　要	1．妊娠・分娩・産褥各期の正常と異常，疾患について学ぶ。 2．女性のライフサイクルの各期における特徴と必要な看護について理解し，妊娠・分娩・産褥各期の経過および妊婦・産婦・褥婦の看護に関する基本的な知識を学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6 7	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15	母性　月経周期と妊娠の成立 母性　妊娠・分娩 母性　妊娠初期の疾患 母性　妊娠中・後期の疾患 母性　分娩時の疾患 母性　産褥・新生児 母性看護 筆記試験	非常勤講師
1 2 3 4 5 6 7	16・17 18・19 20・21 22・23 24・25 26・27 28・29 30	母性とは、女性の一生 正常妊娠の看護 正常分娩の看護 正常褥婦の看護 新生児の看護 異常（妊娠・分娩）の看護 異常（産褥・新生児）の看護 筆記試験	非常勤講師 ・パワーポイント ・骨盤胎児モデル
1 2 3	31 32・33 34・35	分娩・産褥，新生児について知識確認 沐浴実習・新生児のバイタルサイン・計測 〃　　まとめ	専任教員

教科書	新看護学14 母子看護　母性看護　(医学書院)
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門科目 母子看護（小児看護）	担　当　者 資格・役職等	医師 大学准教授
開　講　時　期	１年後期	時　間　数	35 時間／70 時間
授　業　の　概　要	1．小児各期に特有な疾患について学ぶ。 2．看護の対象となる小児の特徴を理解し，小児看護についての理解を深める。 3．小児の成長発達の特徴を理解し，子どもと家族への看護を学ぶ。		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	１・２ ３・４ ５・６ ７・８ ９・10 11・12 13・14 15・16 17・18 19・20 21・22	出生前の疾患，新生児(1) 新生児(2)，感染症(1) 感染症(2) 感染症(3) 栄養障害，消化器(1) 消化器(2)，呼吸器(1) 呼吸器(2)，循環器 血液、腎泌尿器、内分泌・代謝 免疫・アレルギー 神経，筋，まとめ 筆記試験	非常勤 講師
1 2 3 4 5 6	23・24 25・26 27・28 29・30 31・32 33・34 35	小児看護とは　母子保健の動向　子どもの成長・発達と生理 子どもの栄養　子どもの養護としつけ 疾病の予防と予防接種 子どもの精神保健　子どもと社会　子どもの診療と看護 小児の基礎技術 おもな症状と看護　特殊な状況にある子どもの看護　救急看護 おもな疾患の看護（呼吸器疾患　循環器疾患　消化器疾患） 筆記試験	非常勤 講師 ・パワーポイント

教科書	新看護学 14　母子看護　小児看護　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験

授　業　科　目	専門科目 精神看護Ⅰ	担　当　者 資格・役職等	医師 看護師・看護師
開　講　時　期	１年後期	時　間　数	35 時間／70 時間
授　業　の　概　要	１．精神医療の総論，精神症状・疾患，治療について学ぶ。 ２．精神障害を持つ患者の看護について学ぶ。 ３．精神看護の課題と展望		

回数	時間	授　業　内　容	担当者
1 2 3 4 5 6 7 8	１・２ ３・４ ５・６ ７・８ ９・10 11・12 13・14 15・16 17・18	精神科医療の総論 主な精神症状と状態像Ａ 主な精神症状と状態像Ｂ 精神領域における診察と検査 主な精神障害とその分類Ａ 主な精神障害とその分類Ｂ 精神障害の主な療法 授業のまとめ，医療に係わる雑談　【パワーポイント・書画カメラ】 筆記試験	非常勤 講師
1 2 3 4 5 6 7 8	19・20 21・22 23・24 25・26 27・28 29・30 31・32 33·34 35	倫理　セルフケア　人との関係性のバランス【パワーポイント】 リエゾン活動　認知症ケア　【パワーポイント】 自分を知る　他者を知る　自己紹介他者紹介 　精神障害を持つ人と関わるときの視点 長野赤十字病院の紹介　精神科外来と病棟の紹介 精神科救急　精神科身体合併症　コードブルー　RRT 患者とのコミュニケーション 多職種連携　チーム医療　周産期における多職種連携 精神科リスクマネジメント 自殺企画 自傷行為 CVPPP 薬物の有害事象 アンガーマネジメント まとめ 筆記試験	非常勤 講師 非常勤 講師

教科書	新看護学 15　精神看護（医学書院）
参考文献	配布資料
成績評価の方法	筆記試験　レポート（原稿用紙２枚程度）

授業科目	専門科目 精神看護 Ⅱ	担当者 資格・役職等	看護師 保健師
開講時期	1年後期	時間数	35時間／70時間
授業の概要	1. 精神看護の機能・役割，看護の実際について知り，精神を病む人への看護援助の基本について学ぶ。 2. 心の働きと，その発達の過程及び心の健康の概念について，精神発達や性の発達の観点から理解し，精神保健の意義について認識を深め，人間の心理を理解し、心の健康を保持増進させるための基本的な知識を学ぶ。		

回数	時間	授業内容	担当者
1	1・2	精神看護の特質 精神看護の目的，看護の機能と役割，援助関係の基本となるもの	非常勤講師・パワーポイント
2	3・4	精神看護の特質 看護における人間関係，看護の主体性，医療における精神看護と看護論	
3	5・6	精神看護の実際 入院患者の看護，観察，コミュニケーション，記録	
4	7・8	精神看護の実際 精神障害者の行動制限と人権の確保，行動制限と患者の安全	
5	9・10	精神看護の実際 問題となる症状に対する看護	
6	11・12	精神看護の実際 治療時の看護，外来患者の看護，入院患者の看護	
7	13・14	精神看護の実際 リハビリテーション看護，精神医療におけるチーム医療･リエゾン	
8	15・16	精神看護，地域で生活する患者の看護	
	17・18	精神科病棟の看護の実際 筆記試験	
1	19・20	心の健康：人間の心とは何か	非常勤講師
2	21・22	心の健康：発達と心の課題	
3	23・24	心の健康と環境	
4	25・26	精神保健医療福祉の歴史：世界の精神保健医療福祉の歴史	
5	27・28	精神保健医療福祉の歴史：わが国の精神保健医療福祉の歴史	
6	29・30	精神保健医療福祉と法律：精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	
7	31・32		
8	33・34	精神保健医療福祉と法律：障害者総合支援法	
	35	精神看護の課題と展望 筆記試験	

教科書	新看護学15　精神看護　（医学書院）
参考文献	
成績評価の方法	筆記試験　　出席状況　　授業態度